

授業科目(ナンバリング)	介護過程 I (DD211)			担当教員	大町 いづみ		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択 (介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>介護過程とは、介護による利用者の生活支援活動に不可欠なものであり、介護の専門的知識・技術からなる介護実践の全体像のことである。他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程があるということを理解する事が本演習のねらいとなる。本演習は、介護に関する専門知識や技術を統合し、介護実践に活かしていく思考過程であり、介護実践に必要なものであることを理解していく。</p> <p>本演習は、本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を習得する学習とする。</p> <p>本演習を受講することで、本学のディプロマポリシーでも示されている(介護福祉士としての)専門知識・技術を修得し、課題解決を図ることができるようになることもねらいとする。</p>							④⑤⑥ ⑦⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況に合った支援、情報収集項目を説明できる。</li> <li>・介護過程の流れや留意点を説明できる。</li> <li>・介護過程が専門的知識・技術からなる介護実践の全体像であることを説明できる。</li> <li>・介護計画に必要な情報を抽出する方法を説明できる</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討</li> <li>・課題レポート</li> </ul>	30% 20%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提供される事例から過不足なく情報を収集できる。</li> <li>・情報を分析できる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題レポート</li> </ul>	20%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例をもとにしたワークの進捗状況について、定期的に整理し、実施後の評価をレポートできる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りレポート</li> </ul>	10%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例をもとに利用者のニーズを把握し、課題解決に向け取り組むことができる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りレポート</li> </ul>	20%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討 (30%) : 施設・事業所から提供いただく事例を整理し、課題解決に向けたプランニング等、ディスカッションへの参加度にて評価する。</li> <li>・課題レポート (40%) : 提供された事例の情報の整理や課題抽出などをレポートにしてまとめたものにて評価する。まとめたものについてはポートフォリオを活用し、相互閲覧等行う。事例検討時やディスカッション時に教員からはフィードバックを行う。</li> <li>・振り返りレポート (30%) : 4 施設・事業所で学んだことやディスカッションにてやりとりをして学んだことを振り返りレポートとしてまとめたものにて評価する。提出されたレポート (ポートフォリオにて提出) へのコメントは個人にフィードバックする。</li> </ul>							
授業の概要							
<p>介護過程について、総論的に学ぶ。介護過程の意義、アセスメント、計画、実施、評価と介護過程の展開や理論について学ぶことが中心となる。</p> <p>また、事例や自分自身の身の回りの出来事や取り組みなどを適宜活用していく。個人ワーク、ペアワーク、グループワークを展開させ、ディスカッションを通じた情報を収集し整理する。そして立案・実施・評価し、報告することも盛り込んだ授業を予定している。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：中央法規『介護現場で活かすフィジカルアセスメント 利用者の生命と生活を支える知識と技術』(2017)</p> <p>指定図書：中央法規『介護現場で活かすフィジカルアセスメント 利用者の生命と生活を支える知識と技術』(2017)</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							

利用者の生活を理解したり把握したりすることが重要です。しかし、まず現在の自分自身がどのような生活を送っているのか(学内・学外)、一日をどのように過ごしているのか、どのように過ごしたいと願っているのか等を意識的に捉えるようにしてください。

グループでの事例検討も実施予定ですので、主体的な参加姿勢で授業に臨まれることを期待します。また、報告・連絡・相談を積極的に行えるようになることも期待しています。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	
1	介護過程とは何か 介護過程の意義と基礎的理解①	オリエンテーション 介護過程の意義、目的・目標について学ぶ。	予: テキスト冒頭のまえがきを読む 復: 配付資料の再読	
2	介護過程とケアマネジメント過程の共通点と相違点 介護過程の意義と基礎的理解②	介護過程の基礎的理論について学ぶ。	予: 「ケアマネジメント」の意味を考える 復: 配付資料の再読	
3	利用者にとって適切な介護とは 利用者の生活に目標・目的を持つことの意義 介護過程の展開の理解① 介護過程の展開の理解② 介護過程とチームアプローチ① 介護過程の展開の理解③ 介護過程とチームアプローチ② 介護過程の展開の理解④ 介護過程とチームアプローチ③ 介護過程の展開の理解⑤ 介護過程の展開の理解⑥ 介護過程の展開の理解⑦ 介護過程の展開の理解⑧ 介護過程の実践的展開① 介護過程の実践的展開②	高齢者施設における介護過程の展開について学ぶ。 高齢者施設(特別養護老人ホーム)から事例を提供いただき検討を始める。	予: 施設ケアマネの業務調べ 復: 配付資料の再読	
4		高齢者施設における介護過程の展開について学ぶ。 適切なケアの選定、生活の目標・目的を持つことの意味について考える。	予: 提供事例の読み込み 復: 配付資料の再読	
5		高齢者施設における介護過程の展開について学ぶ。 高齢者施設ケアマネとディスカッションを行う。	予: ディスカッション準備 復: ディスカッションの振り返り	
6		高齢者施設における介護過程の展開について学ぶ。 高齢者施設(ケアハウス)から事例を提供いただき検討を始める。	予: 居宅ケアマネの業務調べ 復: 配付資料の再読	
7		高齢者施設における介護過程の展開について学ぶ。 適切なケアの選定、生活の目標・目的を持つことの意味について考える。	予: 提供事例の読み込み 復: 配付資料の再読	
8		高齢者施設における介護過程の展開について学ぶ。 高齢者施設ケアマネとディスカッションを行う。	予: ディスカッション準備 復: ディスカッションの振り返り	
9		障害者施設における介護過程の展開について学ぶ。 高齢者施設(入所施設)から事例を提供いただき検討を始める。	予: 相談支援専門員業務調べ 復: 配付資料の再読	
10		障害者施設における介護過程の展開について学ぶ。 適切なケアの選定、生活の目標・目的を持つことの意味について考える。	予: 提供事例の読み込み 復: 配付資料の再読	
11		障害者施設における介護過程の展開について学ぶ。 障害者施設の相談支援専門員とディスカッションを行う。	予: ディスカッション準備 復: ディスカッションの振り返り	
12		障害者の居宅及び就労支援における介護過程の展開について学ぶ。 障害者事業所から事例を提供いただき検討を始める。	予: 相談支援専門員業務調べ 復: 配付資料の再読	
13		障害者の居宅及び就労支援における介護過程の展開について学ぶ。 適切なケアの選定、生活の目標・目的を持つことの意味について考える。	予: 提供事例の読み込み 復: 配付資料の再読	
14		障害者の居宅及び就労支援における介護過程の展開について学ぶ。 障害者事業所の相談支援専門員とディスカッションを行う。	予: ディスカッション準備 復: ディスカッションの振り返り	
15		介護過程の実践的展開③ まとめ	自立に向けた介護過程の展開の実際についての学びを振り返る。	復: 配付資料の再読